

人間社会学研究科
博士論文審査申請要件

※平成 24 年度以降の入学生については新しい博士論文審査申請要件を参照すること。

学位論文審査申請に必要な要件を、以下のように定める。いずれの専攻、分野、領域においても、(1)と(2)の両方を満たすこと。

言語文化学専攻

- (1) 査読付きの論文を 2 編以上公刊しているか、掲載が決定していること。
- (2) 学会等で 1 回以上の研究発表をしているか、発表が決定していること。

人間科学専攻

現代人間社会分野：

- (1) 日本語で執筆の場合は 400 字換算で 200 枚以上、英語で執筆の場合は、2 万 2 千語以上であること。
- (2) 学位論文には、査読付きの学会誌、あるいはそれに準ずる専門誌に投稿した論文を、2 編以上含めることが望ましい。

社会環境分野：

- (1) 学位論文は、提出者の単独執筆論文で、おおむね 10 万字の分量であることを目安とする。
- (2) 学位論文には、査読付きの学会誌、あるいはそれに準ずる専門誌に投稿した論文を、2 編以上含むものとする。

文化形成論分野：

- (1) 日本語で執筆の場合は 400 字換算で 200 枚以上、英語で執筆の場合は、2 万 2 千語以上であること。
- (2) 学位論文には、査読付きの学会誌、あるいはそれに準ずる専門誌に掲載された論文を、2 編以上含むものとする。

心理教育分野：

A. 実験系心理学の領域

- (1) 学位論文には、査読付きの学会誌 2 編以上を含むものとする。
- (2) 業績には、英文論文あるいは国際学会・シンポジウムでの発表が 1 編以上含まれていること。

B. 臨床系心理学の領域

- (1) 学位論文には、査読付きの学会誌 2 編以上を含むものとする。
- (2) 業績には、英文論文あるいは国際学会・シンポジウムでの発表が 1 編以上含まれていることが望ましい。

C. 教育学の領域

- (1) 学位論文には、査読付きの学会誌 2 編以上を含むものとする。
- (2) 業績には、英文論文あるいは国際学会・シンポジウムでの発表が 1 編以上含まれていることが望ましい。

社会福祉学専攻

- (1) 学会誌またはこれに準ずる学術誌に単著または筆頭執筆者としての査読つき論文が 2 編以上あること。
- (2) 単独または筆頭発表者としての学会発表が 2 回以上あること。